

世界に広がる大気社

大気社は海外19か国に34社の連結子会社を有しています。(2016年9月末現在)



拠点紹介



TKS Industrial Company (大気社アメリカ)

1981年、当社の連結子会社として設立された大気社アメリカは、今年で35周年を迎えます。日系自動車メーカーの北米進出が相次いだ80年代より、当社は一貫して現地に根ざした事業活動を推進し、ホンダアメリカをはじめとするさまざまな自動車メーカーの塗装工場案件を手掛けることで、豊富な施工実績を積み重ねてきました。これらの実績やノウハウが高く評価され、2015年にはホンダアメリカから契約金額2億1千万米ドルの一大プロジェクト(塗装ライン新設工事)を受注することができました。



大気社アメリカのスタッフ

また、近年では航空機ロボット自動塗装システムの技術を有するEncore Automation LLC社と業務・資本提携を行うなど、順調に事業を拡大しています。今後も世界トップレベルの技術と競争力により、積極的な事業活動を展開していきます。

FOCUS

世界最大の自動車保有国であるアメリカでは、2015年の自動車販売台数が約1,747万台を記録し、過去最高となりました。こうした好調な販売状況の背景としては、市場経済の活況に加え、長期の低金利自動車ローンやリースなどが消費者心理を後押ししていることが考えられます。

このような状況の下、今後も自動車メーカー各社による設備投資の増加が期待されており、大気社アメリカはこのビジネスチャンスを積極的に取り込み、売上拡大を目指します。

株式会社 大気社

証券コード:1979

環境をつくる技術は、未来をつくる技術。



この写真は大気社の海外拠点があるアメリカの世界遺産、自由の女神像です。アメリカの拠点については、裏表紙をご覧ください。

株式会社 大気社

〒160-6129 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
TEL:03-3365-5320(代) FAX:03-5338-5195
<http://www.taikisha.co.jp>



第72期
第2四半期

株主通信

2016.4.1 ▶ 2016.9.30

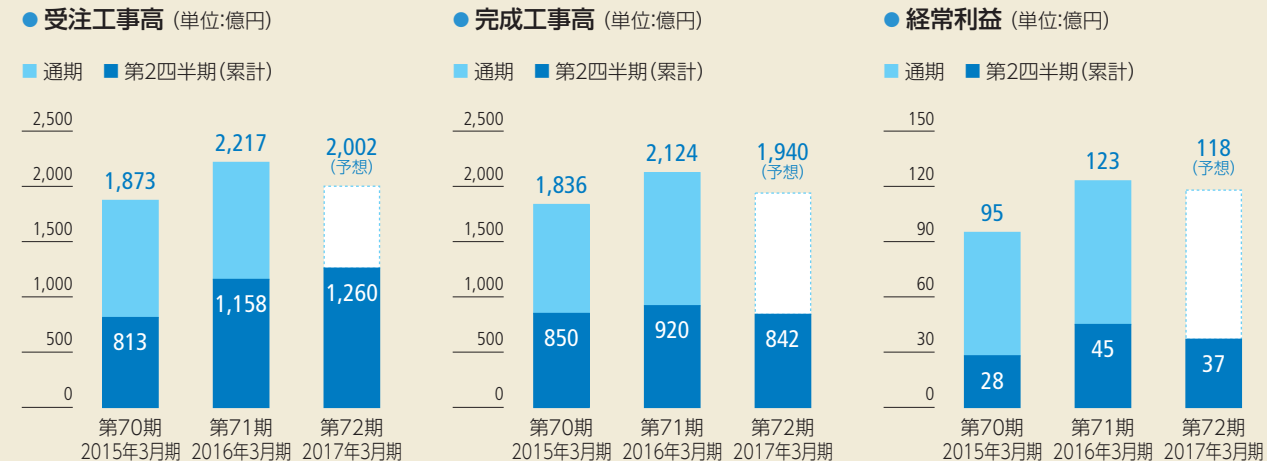


株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社第72期第2四半期連結累計期間（2016年4月から2016年9月まで）を終了しましたので、概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長 上山悟

業績ハイライト



完成工事高は、北米や国内で工事量が増加しましたが、タイやブラジルなどで減少したことにより、842億10百万円（前年同期比8.5%減少）となり、うち海外の完成工事高は、397億2百万円（前年同期比23.7%減少）となりました。

利益面につきましては、完成工事高が前年同期比で78億46百万円減少したことなどにより、営業利益は30億28百万円（前年同期比10億24百万円減少）、経常利益は37億34百万円（前年同期比8億5百万円減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等が減少したことなどにより、26億64百万円（前年同期比60百万円増加）となりました。

Q 当第2四半期連結累計期間の事業環境はいかがでしたか。

A 当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では引き続き堅調に推移し、欧州でも個人需要の下支えにより緩やかな回復基調となった一方、アジアでは、中国において緩やかな減速基調が続きました。日本経済は、為替の円高基調が継続しているものの、全般的には緩やかな回復傾向となりました。

Q 当第2四半期連結累計期間の業績についてお聞かせ下さい。

A 当社グループにおきましては、当第2四半期連結累計期間における受注工事高は、中国やタイなどで減少したものの、北米や国内において増加したことにより、1,260億13百万円（前年同期比8.8%増加）となりました。うち海外の受注工事高は、643億21百万円（前年同期比0.1%増加）となりました。

Q 事業方針について説明をお願いいたします。

A 当社は社是「顧客第一」のもと、「エネルギー・空気・水」にかかわる環境対応技術を核として、グローバルに事業を拡大し、安定的かつ持続的な成長を図ってまいります。

株主の皆さまのご期待に沿えるよう、経営目標達成のために全力をあげて取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



環境システム事業部

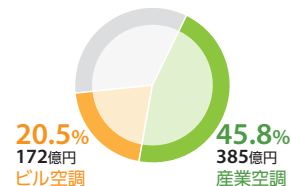
経営資源の優先配分とお客さまへの積極的な提案活動により、さらなる受注拡大を目指します。

当事業部は、クリーンルームなど工場向けの空調設備を設計・施工する産業空調分野と、オフィスビルなどの空調設備を設計・施工するビル空調分野を国内外で展開しています。

産業空調分野では、為替の円高傾向による企業業績への影響が投資判断を消極化させる懸念があるものの、電子部品の技術進歩や医薬品の需要拡大に伴い、関連企業の設備投資が増加すると見込んでいます。ビル空調分野では、首都圏の再開発におけるオフィスビルの新築投資が期待されます。長期的には既存ビルを更新するリニューアル市場の比率が高まると予想しています。

今後の取り組みとしては、投資が伸びる分野や市場を見定め、迅速な対応と経営資源の優先的な配分を行うとともに、需要の増大が予想されるメンテナンス・リニューアル物件についても、お客さまへの積極的な提案活動を推進します。また、海外市場においては日系のみならず、非日系企業のニーズにも幅広く応えることができる営業と施工の体制づくりを行います。

● 環境システム事業部売上高
累計期間:2016.4.1~2016.9.30



Green Technology System Division

成田山新勝寺
大本堂・光輪閣空調改修工事が完了

2016年7月、千葉県にある成田山新勝寺の大本堂・光輪閣空調改修工事が完了しました。これは2018年に成田山が開基1080年を迎えることに伴い、記念事業の一環として行われたものです。当社は御護摩祈禱を行う中心道場である大本堂と、客殿を備える光輪閣の空調・衛生設備工事を請け負いました。



塗装システム事業部

経営資源の優先配分と海外グループ会社との連携により、さらなる受注拡大を目指します。

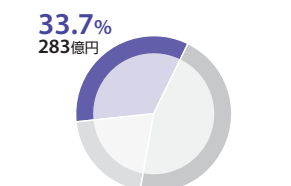
当事業部は、国内外の自動車メーカーを主要なお客さまとして、自動車塗装プラントの設計・施工を行い、この分野で世界トップクラスの売り上げを誇ります。

自動車塗装分野では、自動車販売が好調なアメリカやインドにおいては、投資の拡大が期待されます。

今後の取り組みとしては、成長性が見込まれる市場に対して経営資源を優先的に配分し、より効率的に対応できる組織づくりを行います。

また、海外グループ会社との連携により、非日系自動車メーカーからの受注拡大や、航空機など自動車以外の塗装設備事業、コンベヤシステムなど、周辺領域への事業拡大にも積極的に取り組んでいきます。

● 塗装システム事業部売上高
累計期間:2016.4.1~2016.9.30



Paint Finishing System Division

いすゞ自動車初のインド工場が竣工

2016年4月、いすゞ自動車初となるインド工場が竣工しました。当社はコンベヤシステムなどを含む塗装工場の設備を一括で受注しています。新工場では、インド国内の小型商用車市場におけるピックアップトラックの需要拡大に合わせて、排気量2,500CCクラスのピックアップトラック「D-MAX」が生産されます。



可搬型過酸化水素除染システム「ドライデコ モビー」に新たなラインナップ

無菌製剤施設や動物実験施設およびウイルス・遺伝子組み換えDNA実験施設等では、室内の除染が義務付けられています。これまではホルムアルデヒドを使用した除染が一般的でしたが、発がん性物質による人体への影響が指摘されています。



ドライデコ モビーの新ラインナップ

これを受け当社では、2010年、人体への影響が少ない過酸化水素を用いることに加え、ドライ方式により腐食を最小限に抑えることができる室内型除染システム「ハイパー ドライデコ」を武田薬品工業株式会社と共同で開発、翌年には可搬型除

染システム「ドライデコ モビー」(室外型)を開発しました。

そして今回、お客さまのニーズに応える形で新たに発表されたのが、この「ドライデコ モビー」の室内型(50㎡タイプと300㎡タイプの2種類)です。コンパクトで移動が容易な設計により、使い勝手の良さや低コストを実現したほか、台数や種類を組み合わせることで、さまざまな除染対象エリアに対応できます。

現在は、特に近年目覚ましい発展を遂げている再生医療分野での採用拡大を目指し、積極的な営業活動を展開しています。

*除染とは
医薬の分野において、ある一定の決まったレベルまで菌の数を減らすこと。

大胆な発想により、革新的な塗装ブースを具現化 — J-Hive —



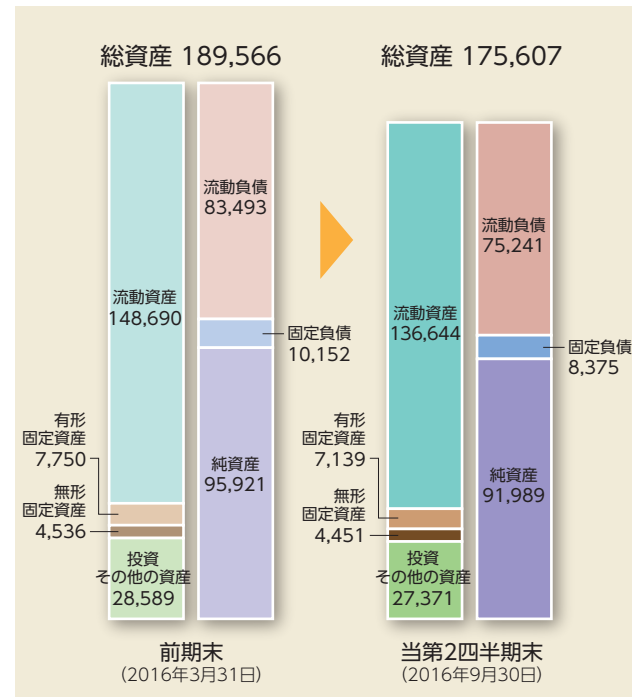
自動車塗装工場において、エネルギー消費量の削減と設備の小型化は、常に改善が求められているテーマです。この2大テーマに対し、当社とアライアンス関係にあるGeico社は、J-Hiveという革新的な商品を開発しました。

これは、モジュール化された八角形の塗装ブースユニットを自在に組み合わせることができる設備で、独自の搬送システムとロボット塗装システムとの組み合わせにより、大幅な省エネルギーおよび省スペースの実現を可能にしています。昨年開催された国際会議SURCAR Shanghai 2015にて初めて外部発表され、同会議ではInnovation Awardを受賞しました。SURCARとは、50年以上の歴史を持つ自動車塗装技術の国際会議のことで、塗装技術業界で最も権威ある会議の一つです。

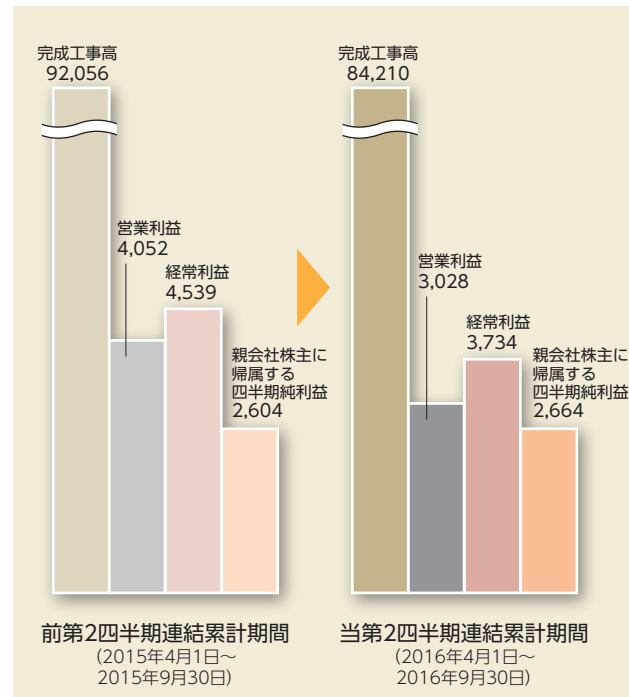
今後も大気社グループは、お客さまからのさまざまな要望に応えるべく、革新的な商品の開発を推進していきます。



連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



会社概要 (2016年9月30日現在)

商号 株式会社 大気社 (Taikisha Ltd.)
 創業 1913年4月10日
 設立 1949年7月7日
 資本金 6,455百万円
 従業員数 (連結) 4,744名 (個別) 1,444名
 グループ企業、取締役および監査役、株式情報については下記URLにてウェブサイトをご覧ください。
 【グループ企業】
<http://www.taikisha.co.jp/corporate/group/index.html>
 トップページ > 企業情報 > グループ企業
 【取締役および監査役】
<http://www.taikisha.co.jp/corporate/officer.html>
 トップページ > 企業情報 > 役員紹介
 【株式情報】
<http://www.taikisha.co.jp/ir/stock/info.html>
 トップページ > 株主・投資家情報 > 株式・株主情報 > 株式情報

株主メモ

証券コード 1979
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
 事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話お問合せ先 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)
 公告方法 電子公告により行います (当社ウェブサイトに掲載)。
 ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

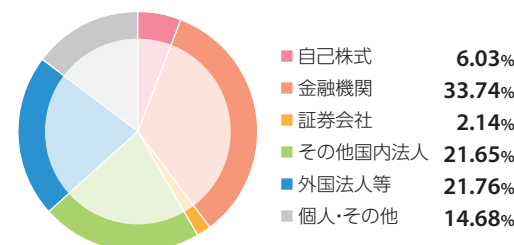
株式状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数 100,000,000株
 発行済株式の総数 36,782,009株
 株主数 3,450名

大株主 (所有株式数上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,921	8.5
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	2,818	8.2
株式会社建材社	1,730	5.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,553	4.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,209	3.5
ザバンク オブ ニューヨーク メロン (インターナショナル) リミテッド 131800	1,034	3.0
大気社協力会社持株会	1,014	2.9
株式会社第二建材社	1,000	2.9
大気社社員持株会	902	2.6
日本生命保険相互会社	866	2.5

所有者別株式分布状況 (株式数比率)



(注) 1.当社は、自己株式2,219,202株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
 2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 3.[持株数]は千株未満を切り捨てて表示しております。